

NPO（ボランティア団体・市民活動団体等）からの協働事業等提案  
「百代郷 夢びと 山びと この指とまれ」第3回検討会 議事概要

日 時：平成20年10月23日（木）9：00～12：00

場 所：県尾鷲庁舎2階202会議室

出席者：（提案者）特定非営利活動法人海虹路 池田、宮崎、磯崎

尾鷲自然研究会 七見

（県関係室）環境森林部自然環境室 南

環境森林部森林・林業経営室 野村（尾鷲市駐在）

（市関係室）尾鷲市新産業創造課 芝山

（サポート委員）みえ防災市民会議 山本

（協働事業制度担当室）生活・文化部男女共同参画・NPO室 古川、辻

尾鷲県民センター県民防災室 梅谷

（オブザーバー）熊野県民センター県民防災室 福本

## 1. 前回の検討会から本日までの尾鷲での動きについて

- ・ チラシをもって、市内各所（漁協、診療所、郵便局や尾鷲高校、尾鷲中等）をまわり、事業の説明と協力依頼を行うとともに、曾根区の方々と打ち合わせを実施してきた。
- ・ 10月2日に輪内中で全校生徒を対象に環境学習（2時間）を実施。最後まで集中力をとぎれさせず子ども達も聞いてくれ、良い授業だったと思う。
- ・ 10月15日、20日に歩道づくりを実施。
- ・ 10月4日には、おわせまるごとプロジェクトの現地調査があり、曾根地区における協働事業の取組を説明。今回の検討会に参加頂いた尾鷲市新産業創造課よりプロジェクトの事業概要（1次産業から3次産業までをうまくマッチングさせながら、尾鷲全体を売り出していくことを主眼とする。）を説明。まるごと“おわせ”を売り出すプロジェクト事業の4つの取組の一つ『取組 輪内まるごと元気大作戦！』の中で、古江地区では海育という取組を進めようとしていたところ、曾根では山育・森育の取組が行われることを聞き、それならばこの「まるごとプロジェクト」も今後計画を立てていくという段階であるため、一緒に協力できる場所があれば、海育・森育をうまくかみ合わせていければと考えている、とのこと。

## 2 今後の取組について

植樹事業（11月1日）の実施について

（主催について）

- ・ 今回のイベントの枠組み（主催・共催・後援・協力など）について、県はどんな立場で参加するのか、今一度確認したい。
- ・ 県が事業提案を受けて協働事業を実施する場合、どうあるべきか。他のケースでも概ねこうしているなど、決まっているようなものはあるのか。
- ・ 協働事業の内容によって様々であり、この形と決まっているものではない。必ず

県が主催でなければならないというものでもなく、県が実施すべきものであれば県が主催となり、NPO側で実施すべきものであればNPOが主催となり、県は後援・協力する等、それはこの場で話し合いながら整理していくべきものである。

- ・ 森づくり活動（植樹活動）としては、県が主催となってやっているものはない。（県は補助金を出したり、マッチングをしたりなど。）
- ・ 今回の協働事業は文化振興の事業なので、地域の文化づくりの中の一つとして植樹体験があり、その体験をする中で地域の文化を育んでもらう、と考えている。そこで、今回は三重県も主催としたが、ただ、今回の事業だけを見れば植樹事業であることにも変わりがないのでその辺りをどうしていくか。そこを踏まえて今後どうしていくか一度相談したいと思っている。
- ・ 教育とか啓発的な事業は当然県も行っていく。今回里地里山づくりの補助金を活用して植樹を行って頂くとしているように、植樹はNPO法人さん主催でやってもらい、県は補助金とか、事業の中で側面的に支援を行うという形もあるのか、とも思う。うまく事業が進むように、役割分担も明確にした方がいいと思い、NPO法人海虹路さんもみえる中で改めてそういう話をしたいと思った。
- ・ 今回は三重県も主催として名前を連ねたが、職場の中で先に述べたような話もあって、NPOさんに元気にやって頂く、NPOさん主催でやって頂けたら、とも思うが、それをもって県は何も関わらないという訳ではない。あくまでも整理の問題だと思っている。
- ・ 今回の事業は単なる植樹ではなく、植樹と学習が一体となって、文化の振興を図っていくものである。
- ・ 協働事業の方法について

	県	民	
委託	主		県が主催する、行政でやることは決まったが、民間のノウハウなども活用して実践して頂くもの。予算は行政でもって、実施を民。（文化振興の事業はこちらをイメージしていたのではないか。）
補助（助成）		主	民間が基本やっている事業で、それは公的にも大切なことであるため、公金でも補助（助成）しようというもの。（植樹という事業は県はこれまでこの形で実施してきた。そこで同様の方が整理しやすいという状況が発生している。）
共催	主	主	各々が主となり、出し合いましょうというもの。主体（民側）が多数になってくると、実行委員会形式等になることもある。

- ・ 今年の植樹の事業費用は民側でもっていて、補助金も出ている。しかし、もともとは協働で事業をやろうという中で出てきた植樹である。
- ・ 主催かどうかは、県の体制（人員配置等）にも影響があるため、まずは全員の認識を一致させ、基本を決めてもらえたらと思う。
- ・ イメージとしては全体で統一された事業なのだけれども、その中の個々の事業、

今回の植樹事業は切り分けて考えた方がわかりやすいのではないかと。この流れ（事業）は県からの委託として、この流れ（事業）は民間から助成を受けて実施、等として今後他のところからも助成をもらう等して事業をしていく場合も考えると、個々の事業を切り分けておいた方がいいのではないかと。

- ・ 協働事業で提案した植樹は、ただ木を植えるだけでなく、その場でも、またその後のことに関しても学習をしよう、作業と学習が一つとなってまわっていくことで、一つの文化が出来て定着する。それを切り離してはいけない。今まで切り離していたことから、このような状況になっているのではないかと。あえて一つとなってやることでモデル事業になるのではないかと考えている。
- ・ 行政の縦割りを横につなぐ民間がいることで、縦割りの事業が繋がっていく。海虹路さんがいるから個別の事業が一体に動いていけるというイメージの方がよいのではないかと。植樹事業・文化事業が海虹路さんがいることで、有機的に繋がっているんだよ、というように。
- ・ 共催だったら、植樹の準備（歩道設置等）にもきてもらえるが、そうではなかったら、来てもらえないのではないかと。まだ現在の担当者の方がいる間はいいが、特に担当者が変わった場合のこと等も考えれば難しいのではないかと。
- ・ 今回の事業の主催は、チラシにも書いたようにNPO法人海虹路と三重県である。次回以降については、再度、整理することとする。
- ・ 植樹当日も、植樹と学習が一体となっているということを改めて認識してもらえようとする。

#### （参加者数）

- ・ 現在申込者数92人。内訳は大人57人、15歳以下の子ども35人（うち、6歳以下11人）。学校単位での申込ではなく、個人での申込だが、賀田小や三木里小からも参加してもらえようである。保険の関係では当日までに人数がわかればよい。スタッフも含めて今後参加人数を確定する。

#### （イベントの実施にあたって）

- ・ 雨の場合の対応について。雨でも決行する。植樹に行ける人には行ってもらい、植樹に行けない人には公民館へ移動してもらって体験教室を行う。そしてご飯を食べてもらって解散。
- ・ 雨での場合のことを、先に連絡しておくこととする（葉書で出す）。内容は、
  - ・ 雨天でも決行すること。（雨天の場合、現場に行けない人は室内の体験教室に変更。）
  - ・ 当日の雨の場合の問い合わせ先

あわせて、9時半から受け付けを開始することと、チラシでは「申し込みの際の個人情報、この事業の目的以外には使用いたしません。」としているため、継続事業のご案内を今後今回の参加者にさせて頂くにあたり、案内が必要ない方は、受け付けに申し出てもらうことも依頼しておく。

- ・ 雨の場合は問い合わせ先となる県民Cに誰かが待機する等対応を行う。
- ・ 当日、海虹路のHPにも事業実施・中止に係る情報を掲載する。

(当日のタイムスケジュール、作業の確認)

- ・ 8時庁舎出発、8時30分から現地で1時間で準備、9時30分から受付開始、10時スタート、事前学習(10分)、作業説明(10~15分)、苗配布、植樹(20分)、防護柵取り付け(20分、もう少し時間かかるかもしれないが)、昼食等、要する時間の見込みから、当日のタイムスケジュールを調整。
- ・ 植樹する苗は、ヒノキ100本、コナラ50本、クヌギ50本、ヤマザクラ35本、ウメ25本、ウバメガシ25本、サカキ35本、の計320本。一人2~3本植樹できる。鍬も2組・3人に1本くらいにあたるように用意。植樹する場所に目印(赤ペンキを塗った棒)を事前にさしておく(植樹が植えやすい場所に固まらないように、また下草刈りの時に間違っって苗木を刈らないための目印にもなる)。ウメは採りやすいよう下の方に、桜は歩道沿いに固めるなど、あとはばらばらに樹種を植える。目印となるリボンも付けておく。
- ・ 準備物の確認(テント、ブルーシートなど)
- ・ スタッフ数の確認。後日現地スタッフで打ち合わせを行う。(現地への誘導、駐車場整理、トイレ対応(運転手つきで公用車1~2台)会場の設営など)
- ・ 近くの診療所には連絡済み。ただし内科であるため、消防署にも連絡。看護婦さん1名は来てくれる。

(アンケートについて)

- ・ 当日のイベント自体(段取り・スタッフ等)以外にも、この事業(文化振興)でどんなことが出来るか聞いてみたい。参加された方のパーソナリティに関わるものを聞こうかとも思ったが、それより、この事業をよりよく発展させていくための意見(アイデア)、今後どんな活動をしていったらいいか、この輪内の山をどうしていったらいいと思うか、どういうことなら関わってもらえるか、等について質問することとする。

3. 次回(第4回検討会)の日程

- ・ 12月11日(木)15:00から、場所は尾鷲庁舎で行う。
- ・ 植樹事業の振り返りと、アンケート結果も踏まえた今後について等を検討。

尾鷲庁舎での検討会終了(~11:00)後、現地へ移動、確認。